

## 議事要旨記録票

日時	令和3年2月9日（火曜）
場所	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため書面開催
会議件名	令和2年度 第3回日野市子どもの貧困対策推進委員会
主な議題	子どもの貧困対策に関する事業の進捗状況について
参加者	<p>■委員[学識経験者]福田 憲明（委員長）、小田川 華子（副委員長）[市民委員]加藤 洋子、星野 美智代、藤浪 里佳[子どもの貧困対策に関する活動を行っている者]阿部 和広、山口 喜一郎[民生・児童委員の代表者]中村 真紀子[小中学校の代表者]高橋 清吾、小林 洋之[市職員]中田 秀幸、村田 幹生、山下 義之■事務局職員[セーフティネットコールセンター長]萩原 美和子[係長]大野 実、嵩原 香代子、鳥井山 さと里[主事]古城 妃の華</p>
配布資料	次第、令和2年度子どもの貧困対策進行管理状況表
結果	<p> <input type="radio"/> 了承(意見なし)  <input checked="" type="radio"/> 了承(意見あり)  <input type="radio"/> 要修正・再説明  <input type="radio"/> 不承諾  <input type="radio"/> 情報共有のみ </p> <p>いずれかに該当する場合は「主な内容」欄に意見要旨を記載</p>
主な内容	<p>■会議次第</p> <p>①子どもの貧困対策に関する事業の進捗状況について</p> <p>②その他</p> <p><u>会議内容</u></p> <p>1 子どもの貧困対策に関する事業の進捗状況について</p> <p>令和2年度子どもの貧困対策進行管理状況表について、委員よりご意見をいただきました。</p> <p><u>全体について</u></p> <p>●令和3年度の基本方針見直しにむけ、指標の再検討をするとよいと思います。なかでも、「平日の朝食摂取率」「経済的な理由で子どもを学習塾に通わせられない割合」は自治体の政策指標として妥当だろうかという観点で再検討が必要ではないかと思うためです。「平日の朝食摂取率」が低い原因は何かを明らかにし、その原因となる問題状況を改善する手立てを自治体として施策かすることができるのか、検討する必要があると思います。「経済的な理由で子どもを塾に・・・」</p>

の方は、そういった子どもたちの為に、いくつかの学習支援事業をすでに行っていますので、むしろ、そちらの方の成果を捉えられえるような指標が望ましいと考えます。今後、他の委員の皆様の意見も伺い、検討していければと思います。

●ほっともについて話が及んでいますが、これまで本委員会は総花的な意見交換をしてまいりましたが、分科会設置が望ましく、例えば、ほっとも、子ども家庭支援センター、セーフティネットコールセンター、社会福祉協議会、フードバンク TAMA が集まって意見交換を行うことを提案いたします。

●子どもの貧困と深く関係しているのではないかと考えられるヤングケアラーの存在について、市ではどのくらい把握しているのか、そしてこれからどのような方向性で対応していくのか、委員会を通して考える機会を共有させていただきます。ヤングケアラーがいる家庭は、ひとり親世帯など経済面でも困難を抱えている状況が推測され、生活保護受給率も高く、子どもの貧困とも密接に関係していると思われます。家庭内のことである故、見えにくく相談先もないため、貧困の陰で見えないこととして知られないまま子どものあきらめや将来への希望喪失につながってしまう可能性が高く、更なる貧困の連鎖を招いてしまうことも推測されます。今後ますます顕在化していくであろうヤングケアラーの存在にまずは関係者が理解を深め、貧困の一つの形として視野に入れた支援が必要になるのではないかと考えます。ヤングケアラーの子は学校を休みがちであったり、遅刻などが多いと聞きます。学校では、スクールカウンセラーの方が、もしかしたら？と気付くような研修や情報共有ができたなら、支援につながるのではないのでしょうか。今回の報告の中で、見えてきた課題として「教育と福祉などの関係諸機関の周知を続ける」とありますので、福祉関係との連携はハードルが高くないように見受けられます。また、市の最初の窓口となる関係職員へは、ヤングケアラーの存在や貧困との連動性など多角的な観点から、救いを求めてきた方の話を聞けるスキルを身に付けていただけるような研修内容の必要性を感じます。「職員に対する貧困対策・自立支援に関する研修の実施」がまだ未実施のようですので、一般的な研修だけでなくより時代の流れを反映した内容で実施されることを希望します。次々とすそ野が広がる感じがする子どもの貧困問題ですが、「気付き」が支援につながる一歩になるのではないかと思います。

●市民の中には、未だに、子どもの貧困対策や教育支援に対して、かわいそうな子ども達を助けるという捉え方があるようです。貧困に苦しむ子供達が質の高い

教育機会を与えられることで、将来きちんと働いてお金を稼ぎ、納税者としての存在となっていく。貧困家庭への支援は、日本社会の担い手の育成につながっていることを広く一般市民が理解するための取り組みが必要であると思います。

●相談に関する対応で各フロアで1台 Zoom 対応が行えるパソコンが配備されたとのこと、市民とのやり取りが頻繁に行われている各課に1台の設置は必要ではないでしょうか。また、公式LINEの稼働をお願いしたいと思います。

### 基本的方向性 1

#### ●施策項目 2 - ③生活困窮家庭の子どもに対する学習支援の拡大

現在、ほっとも日野において、学習支援の事業を受託し、事業を行っております。受託後から、現在までの数年で、推薦依頼をうけるお子さんの抱えている事情が、年々対応が難しいケースが増えてきている実感です。学習に取り組む以前の段階での課題（生活習慣の習得や、生活環境の安定等）が多く、支援の方法、人員等の拡充が望まれるところです。

#### ●施策項目 4 社会体験や文化に触れる学習の提供 施策全体について

ほっとも現場から、利用しているお子さんの数々の体験不足を感じるがあります。行政が提供する体験活動となると、誰でも参加しやすい状況が作り出されると考えるので、この分野の拡充は、さらに望まれるところだと考えます。ほっとも等の事業所から、直接利用児童に届ける等の広報方法も実施できるかと考えます。

#### ●施策項目 5 学習意欲の経済的な面からの支援 奨学金制度の拡充検討

コロナの影響をうけて、今後奨学金を必要とする児童が増大するように思います。ぜひ、制度の拡充をはかり、必要とする児童のところに、届くようにしてもらいたいです。あわせて、児童及び保護者への、奨学金制度の告知・広報がを分かり易く伝える対策が必要と考えます。ほっとも利用児童の様子から、高校進学後は、ある程度児童本人が、このような制度を理解することで、自らの大学進学等の可能性を開いていくことができるのではないかと思います。

## 基本的方向性 2

### ●施策項目 1- ③-2 フードバンク団体の活動への下支えの実施

「食の問題だけで生活を改善できているのか実態を探り、真に必要とする支援へつなぐ」という R3 年度の取り組みは非常に重要だと思います。

生活実態調査の結果のみならず、地域で支援活動をしている方々の意見も聞きながら、「支援につなぐ」方法を開発していくとよいと思います。

## 基本的方向性 3

### ●施策項目 4-③ 家計収支管理などに関する相談支援の充実

「支援同意を受け入れない家庭が多い」とあります。家計を見られたくないというのは一般的な感情ですので、家計管理と一緒に考える段階に到達する手前のソーシャルワークが重要だと思います。家計管理支援担当者のスキルアップのための研修の導入も検討してはどうでしょうか。

## 基本的方向性 4

### ●施策項目 3-① ひとり親家庭などの民間賃貸住宅への入居支援

#### ② 離婚直後等のひとり親への住宅支援

親の離婚で家庭環境が大きく変わる子どもへの負担は大きいですので、せめて学校や地域での人間関係を維持できるように支援するのが望ましいと思います。

「子どもを中心においた地域づくり」の観点からも、これは重要なことだと思います。そのためには各学区内で住宅を確保できるようにすることが必要ということになります。公営住宅がない地域は、公営住宅を増やす、あるいはそれに準じるような形で民間の住宅に住むことができる仕組みを創る必要があるかと思います。公営住宅の所得水準だが民間住宅に住む世帯に家賃補助を出すといったことが考えられるかと思います。現在、ひとり親家庭からの相談はないとのことですが、こういった制度があれば、状況が深刻化する前に早めに環境改善する選択肢となるのではないのでしょうか。

	<p><u>基本的方向性 5</u></p> <p>●施策項目 2 全ての子どもに支援が届く情報発信と啓発</p> <p>コロナの影響をうけ、オンラインでの情報発信が、増えていると思います。貧困家庭においては、情報インフラが充実していない家庭があることや、情報の収集に疎い家庭も多いように思います。紙面、チラシ、インターネットを利用した複合的な情報発信とともに、関係者からの個別の情報提示（発信）が必要なように思います。カスタマイズされた必要情報が、適宜対象者に届くような仕組みがあると、より理解されやすい状況を作り出せるように思います。</p> <p><b>2 その他</b></p> <p>(1) 次回 令和3年度第1回日野市子どもの貧困対策推進委員会について 令和3年（2021年）6月開催予定。</p>
<b>作成者</b>	セーフティネットコールセンター